

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 理事運営会議 議事録＞

日時：平成 26 年 7 月 15 日（火）19：00～21：00

場所：アバンセ 研修室にて（佐賀県佐賀市天神 3-2-11）

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、前田、中倉、川辺、原、藤原、佐藤、寺崎、村岡、野崎、
本山、石原、熊谷（16名）

I. 報告事項

1. OT 協会関連

1) 社員総会

- ・期日：平成 26 年 5 月 31 日（土） 場所：笹川記念会館（東京都）
- ・出席者：倉富会長、山口副会長、小池副会長
- ・会計基準の改正に伴い、書形式が変更される
- ・役員報酬に関する規程改正案及び役員報酬案 → 承認
- ・会員の除名 → 承認

2) 都道府県連絡協議会総会

- ・期日：平成 26 年 6 月 1 日（木）
- ・場所：TKP 浜松町ビジネスセンター（東京都港区浜松町 2-7-17 イーグル浜松町ビル）
- ・出席者：倉富会長

① 第 12 回協会・都道府県士会合同役職者研修会の開催 7 月 26 日・27 日

→倉富会長、山口副会長を派遣

②47 都道府県委員会（仮） → 準備委員会を設置して、来年度より開始予定

2. 九州士会長会関連

1) 第 1 回九州地区作業療法士会士会長会議

- ・期日：平成 26 年 6 月 1 日（木）
- ・場所：TKP 浜松町ビジネスセンター（東京都港区浜松町 2-7-17 イーグル浜松町ビル）

①議事：

- ・合同学会進捗状況報告
- ・士会長主催研修会 → 地域ケア会議（6 月 29 日）、臨床実習指導者関連

3. 県関連

1) 佐賀県在宅生活センター関連

- ・平成 25 年度事業報告 県長寿社会課へ提出。併せて税金を支払う

2) 平成 26 年度第 1 回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

- ・日時：平成26年8月9日（土）13：30～15：30
- ・場所：アバンセ ホール（佐賀市天神3-2-11）
- ・内容：（1）当事者・家族からのメッセージ～経験談を通して～
（2）講演「子どもたちの高次脳機能障害の理解と対応」

－医療と学校と家庭の協働したリハビリテーション－

講師 近畿大学短期大学部 保育科 講師 馬屋原 誠司氏

3) 精神障害スポーツ大会

- ・7 月 3 日 佐賀県 文化・スポーツ部 スポーツ課 スポーツ企画担当と面談
- ・平成27年度 精神障害者バレーボール大会九州大会を佐賀県が担当して開催する。

4月25日 佐賀県総合体育館で開催予定。坂井一也OTR（九州地区精神障害者スポーツ推進連絡協議会会

長)が佐賀県障害者スポーツ協会、県担当者と協議中。佐賀県精神障害者スポーツ推進協議会に九州大会の協力を依頼したい。

- ・次年度の事業に関しては、県士会にも派遣要請。また、精神障害者に関する災害時のマニュアル作成に関して、OT士会にも加わってほしいとの話もあり。依頼があった場合は小池副会長に対応頂く。

4. 佐賀県難病支援の会総会 平成 26 年 6 月 15 日倉富会長が出席

5. 認知症と家族の会の賛助会員申込み 会員番号 36928 年会費 2 万円

6. 合同学会準備委員会

- ・毎月 1 回準備委員会を開催。263 題 (口述 : 71 題、ポスター : 192 題)。学会誌の印刷準備、当日の運営等部局ごとに準備を進めている。

II. 協議事項

1. OT 協会関連

1) 47 都道府県委員会 (仮) への対応

- ・OT 協会との連携 → 県士会での位置づけ

2) 介護予防市町村支援事業実施に関する研修会 (別紙参照)

- ・期日 : 平成 26 年 8 月 9 日 (土)

- ・場所 : TKP ガーデンシティ永田町 バンケットホール 1C (東京都)

- ・出席者 : 小池副会長

・厚生労働省老健局長から各都道府県知事宛に「介護予防市町村支援事業実施要綱の一部改正について (平成 26 年 4 月 1 日老発 0 4 0 1 第 6 号)」の通知が発出され、リハ職の積極的な活用が明記されました。

また、来年度市町村が介護予防・生活支援総合事業を実施するにあたって、厚生労働省が市町村向けに作成・配布するガイドラインにリハ職の積極的な活用が明記されることとなっていることを受けての会議。

※今後、7 月 28 日、各県と厚労省の会議があり、全県に通達される。その後 8 月 6 日各県で会議が開催される予定。その後、県士会として OT も連携するために働きかけていく。

2. 県士会関連

1) 認知症家族会との連携

- ・認知症カフェ 平成 26 年 5 月より第 3 日曜日 10 : 00 ~ 15 : 00 佐賀県在宅生活サポートセンターモデル住宅で開催。寺崎理事が対応。作業療法士会より会員の派遣し、本人や家族への対応できるようになる。

2) エキスパート育成

- ・生活行為向上マネジメント → 小池副会長 8 月 24 日に研修会開催

- ・認知症初期集中支援チーム → 上城広報委員 行政等へ倉富と挨拶予定

- ・シーティング → 江渡学術局長 8 月 9 日・10 日に研修会開催

- ・地域ケア会議 → 倉富 8 月中に委員の選抜

- ・市町村介護予防支援事業 → 倉富 県と協議 対応法について協議

※ 補正予算を組んで活動資金に充てる。

3) 佐賀県在宅サポートセンター関連

- ・リハビリ工房 ⇒ 県士会より 3 回担当

県士会として 3 回担当するが、領域別や活動別など具体的な形を作り、かつ広報に関しても対象者を絞って行うなど工夫が必要。前年度を参考に、今年度の企画を練っていく。

⇒ 継続審議

- ・生活行為向上マネジメント研修 ⇒ 県士会より講師派遣 4 回＋介護福祉士会と合同で 2 回
※県士会の会員で対応できるようにしていくことが必要。

Ⅲ. 各部局からの報告

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

- ・第 50 回学術研修会に関して、3 名のシンポジストで研修会を実施した。
シンポジストの講演時間（30 分）が規定に足りないため、生涯教育ポイントを付与できない。そこで士会長裁量ポイントで対応する。

2) 学術部（前田学術部長より報告）

- ・第 50 回学術研修会について
平成 26 年 7 月 13 日（日）。精神科の地域支援。参加者 34 名。

3) 教育部（中倉教育部長より報告）

- ・現職者選択研修について
発達領域、9 月 21 日（日）、西九州大学にて開催予定。
精神領域、10 月 19 日（日）、相知交流文化センターにて開催予定。
- ・現職者共通研修について
11 月 16 日（日）にメイトプラザにて 4 講座開催予定。
7 月中に案内発送予定。
- ・10/4、5 で全国生涯教育委員会会議に中倉教育部長が参加。

4) 事務局（川辺事務局より報告）

- ・会員数は 460 名（7/14 現在）。
- ・表彰などに関する事。今年度は他団体への表彰推薦はなし。

5) 財務部（原財務部長より報告）

- ・財務管理について
西村会計事務所の税理士と会計報告などの見直し。領収書に関してなど但し書きなど細かく記載することが求められた。詳細に関しては、西村会計事務所に依頼し会計マニュアルとして文章化してもらう。
- ・会計ソフトの購入 ⇒承認
- ・今後の決算に関して、年度（3 月末）で必ず締めないといけなくなる。

6) 広報部（藤原広報部長より報告）

- ・WFOT 学会、九州作業療法広報戦略部に出展に関して報告。4 日間でブース来場者はのべ 1000 人程度。
- ・一般向けの広報誌作成。今年度は広報誌のタイトルを県士会員から公募する予定。

7) 庶務部（熊谷庶務部長より報告）

- ・洋長 3 の封筒を作成する予定。

8) 事業局（佐藤事業局長より報告）

- ・OT フェスタ：さがゆめタウン（イーストコート）で開催。日程：11/9（日）
昨年度まで事業部＋会員で行ってきたが、パンフレットの配布など広報部にも協力を願いたい。
また配布する物もアイデアを頂きたい。広報部の支援に関しては、10/10 までに藤原広報部長が取りまとめる。

9) 事業部（寺崎事業部長より報告）

- ・事業部会を開催。新たに新規 2 名を部員として加え 18 名となった。
- ・高校生の作業療法体験について
佐賀東、塩田、鹿島実業、伊万里、牛津など 22 名の高校生より申し込みがあった。現在受け入れ施設を

検討中（可能な限り地元で体験してもらいたい）。精神科は受け入れが難しい様子。

- ・ OT フェスタの協力依頼文書を8月に発送予定（10月上旬締切予定）。

10) 佐城地区（野崎地区担当部長より報告）

- ・ 第16回佐賀県作業療法学会について

学会の準備にあたり、各施設の代表者に声をかけ、第1回学会準備委員会開催（7月上旬）。

講師選定に対してアンケート調査を行い選定する。また、早めに演題募集の広報を行っていく。

11) 生活行為向上マネジメント推進委員会（小池副会長より報告）

- ・ 8月24日（日）メイトプラザにて老健に勤務する OT を対象とした研修会を予定。

現在参加者2名。佐賀県の老健リハ部会にて老健所属 OT には広報する。締切8月10日。

12) 在宅サポートセンター運営委員会（石原委員長より報告）

- ・ 平成25年度のサポートセンター利用実績の報告（別紙参照）

次回、理事運営部会 9/2（火）アバンセ 19:00～予定